

報道関係各位

国立大学法人弘前大学
株式会社エムティーアイ

**弘前大学とエムティーアイが不妊症の領域において共同研究を開始
『ルナルナ』のデータを活用し、高精度なセルフ妊活アプリの開発を目指す**

国立大学法人弘前大学(青森県弘前市、学長:佐藤 敬)産科婦人科学講座 横山 良仁教授らのグループと、株式会社エムティーアイ(東京都新宿区、代表取締役社長:前多 俊宏)が運営する女性のための健康情報サービス『ルナルナ』は、不妊領域における共同研究を開始します。

本研究では、妊娠を希望している女性の基礎体温や月経状況、生活習慣のデータを収集し分析することで、妊娠支援のための情報提供や、必要に応じて医療機関受診を促すアプリケーションの開発を計画しています。

本研究の第一弾として不妊と生活習慣に関するアンケート調査の実施にあたり、スマートフォン向けサービス『ルナルナ』の利用者(利用ステージが妊娠希望)を対象に、9月7日(金)よりアンケートへの協力者を募集します。

◆研究の背景

近年、女性の晩婚化や挙児希望^{※1}年齢の高齢化によって、不妊症に悩む夫婦は増加^{※2}しており、弘前大学 産科婦人科学講座では、健康な夫婦の約1割以上が不妊に悩んでいると考えています。

不妊症に悩む夫婦が増加している一因として、挙児希望年齢の高齢化があります。女性の加齢と妊孕能(にんようのう)^{※3}についての正しい知識が必要です。妊孕性のピークは20~24歳で、以降低下し38歳前後からは急激に下がるとされますが、この事実を知らない夫婦が時期を逸した結果として妊娠・出産が叶わなかったり、多大な労力を要する生殖補助医療^{※4}を必要としたりするケースが少なくありません。これは少子化問題にも関連する重要な社会的問題となっています。

そこで今回、より多くの夫婦の挙児希望を実現するため、弘前大学産科婦人科学講座 横山 良仁教授らのグループと、『ルナルナ』に記録されている女性のバイタルデータを活用した共同研究[※]を開始します。

※『ルナルナ』に記録されているバイタルデータの活用は、共同研究に同意いただいたユーザーのデータを利用します。

◆研究の目的

- ・医師監修のもと、精度の高い「自己タイミング療法」を指導できるアプリケーション(妊活アプリ)の開発
- ・アプリケーションを介した妊娠支援の情報提供や、必要に応じて専門的医療機関への受診促進などによる、より多くの夫婦の挙児希望の実現
- ・容易に導入できる妊娠補助システムによって将来不妊治療の介入が必要なケースの早期検出

◆『ルナルナ』利用者から研究協力者を募集

【アンケート調査への協力者募集について】

- ・募集対象:『ルナルナ』の利用者(利用ステージが妊娠希望)で、本研究の協力同意が得られた満20歳以上の妊娠希望の女性
- ・募集場所:『ルナルナ』サービス内のお知らせページ
- ・募集期間:2018年9月7日(金)より募集開始
(一定数に到達次第終了)
- ・調査項目:年齢、月経状況、生活習慣、妊活継続期間など約70項目

The screenshot shows the 'ルナルナ' app interface. At the top, it says 'ルナルナ' and 'ルナルナラボ 弘前大学共同研究 ご案内'. Below that, there's a banner for 'ルナルナラボ'. The main content is a notice about a research project. It includes sections for '研究テーマ' (Research Theme: High-precision self-fertility app development), '参加方法' (Participation Method), and 'アンケート' (Survey). The survey details include: ① Read the explanation and agree to participate; ② After consent, a 70-question survey will be displayed. It also mentions that the survey takes about 20 minutes and that users can opt out at any time. At the bottom, there's a button '研究に参加する' (Participate in Research) and a note that results will be published in the app and other media.

※1:子どもを望むこと

※2:国立社会保障・人口動態研究所 第15回出生動向基本調査より

※3:妊娠する力。受精率、受胎能力、繁殖力と同意

※4:体外受精・胚移植、顕微授精、凍結胚・融解移植など、近年進歩した新たな不妊治療法。

報道関係の方からのお問い合わせ先

国立大学法人弘前大学大学院医学研究科
産科婦人科学講座
TEL:0172-39-5107 FAX:0172-37-6842
E-mail:obgy@hirosaki-u.ac.jp

株式会社エムティーアイ 広報室
TEL:03-5333-6323 FAX:03-3320-0189
E-mail:mtipr@mti.co.jp
URL:<http://www.mti.co.jp>

一般のお客様からのお問い合わせ先

株式会社エムティーアイ コンタクトセンター
E-mail:newlnln_support@cc.mti.co.jp